

ぶんすいれい
吉野川の分水嶺を歩く！



次郎岨から見た剣山

初めまして、山登り好きの「岳」です。

この四月から、徳島に住むことになり、毎日悠々と流れる吉野川を見ていたら、この水はどこから流れてくるのだろうと妙に気になりはじめました。そして流域図を眺めていたら、無性に吉野川の分水嶺を歩いてみたいくなり、「とりあえずチャレンジしてみよう！」ということで、山好きな私が吉野川の分水嶺を歩きながら、読者の皆様に吉野川流域の山々の素晴らしさと現状を紹介したいと思います。

※) 分水嶺とは、雨水を異なった水系(隣り合った流域)に分かれる山の峰々ことを指します。

先ず手始めに第1回は、4月29日から2日間、絶好の登山日和のなか、徳島県と高知県の県境にある天狗塚・三嶺から徳島県で一番高い剣山と次郎岨などを縦走したコースを紹介します。

1日目は、徳島県三好市東祖谷の西山林道登山口から、天狗塚、三嶺を経由して剣山までを歩きました。

登山口から尾根にある天狗岨までは、急な登りが続く約1時間半の行程で、峠に立つと東祖谷の落合集落やササとコメツツジで有名な天狗塚が綺麗に見えます。今回は、残念ながらコメツツジの開花時期(7月)ではなかったので咲いていませんでしたが、天気も良く眺めは素晴らしいものでした。コメツツジは、またの機会に紹介したいと思います。

天狗塚は三好市に位置し四国百名山にも選ばれており、三角錐の優美な形をしています。



天狗岨から見た東祖谷落合集落方面



天狗岨から見た天狗塚

ササが群生していてとても綺麗です。天狗塚から西に延びている尾根が牛の背と呼ばれており、天狗塚を下るとちょうど牛の背のようになだらかな登りになっています。



天狗塚から東へ行ったところに日本二百名山の三嶺があり、名前の由来となった3つのピークをもつ山で、クマササが広がりとても綺麗な山です。冬の雪化粧の三嶺も素晴らし景色です。

しかし、台風などで山腹崩壊が激しいうえ、この付近ではニホンジカによる食害の被害も受けています。

三嶺の南に位置するカヤハゲはニホンジカによる食害などで、土が露出し土砂が流出しているため、「三嶺の森を守るみんなの会」による土砂流出を防止するマットの設置などの地道な活動により、植生が徐々に回復しています。



平成 29 年 2 月撮影



土砂流出防止マットを設置後のカヤハゲ (H29.4)



土砂流出防止マット設置状況 (H27.10)



丸石から見た剣山と次郎炭



剣山からの御来光

2日目は、早朝より、剣山の見ノ越登山口から剣山山頂を目指し、山頂から御来光を見ることが出来ました。御来光を見るためにたくさんの登山者が登っていました。



剣山より御来光を見る登山者



剣山山頂で朝食

剣山東側の一ノ森より東側の分水嶺を辿っていくと、鹿の群れに遭遇しました。



一の森から見た天神丸方面



鹿の群れ

剣山山頂で、山好きの仲間達と合流し、剣山から那賀川源流と言われている四国百名山の次郎岨まで歩き、次郎岨から剣山の雄大な景色を堪能しました。



今回の登山は、吉野川流域でも景色がとてもきれいなお気に入りのコースの一つです。季節により平地では見られない可憐な花が咲き山の風景もいろいろな顔を見せてくれ、四季折々の景色が楽しめます。

吉野川の分水嶺をすべて踏破することは、相当難しそうですが、気長くチャレンジしようと考えていますので、温かく見守ってください。

また、写真の撮り方や花の勉強もして、吉野川流域の山々の魅力を紹介していきますので、ご期待ください。

◇今回歩いた距離 18.0km / 全長約 402km

◇分水嶺制覇まで、残り 384km

